

こころこころこころ

2024年発行
vol.
68

認知症治療病棟の取り組み

- 公認心理師&薬剤師 体験レポート
こころとくすり 第4回
みんなで楽しむ「パーティーゲーム」
- 開催報告 こころの医療センター 秋祭り

三重県立こころの
医療センターのビジョン

県民の皆さんのより良いこころの健康をめざし、精神科疾患があっても地域で安心して暮らせるよう、医療サービスを提供していきます。



認知症治療病棟の取り組み

認知症治療病棟では患者さんに自分らしい生活をおくっていただけるよう、多様な職種のスタッフが密に連携して治療にあたっています。各職種の取り組みをご紹介します。



作業療法士
樋口

看護師
田中

医師
吉丸

公認心理師
中川

精神保健福祉士
麻田

看護

多職種での協働に力を入れています

看護師 田中 徹(認知症看護認定看護師)

吉丸医師の紹介にあったように、認知症治療病棟におけるBPSD治療においては多職種での協働が必要不可欠です。その中でも重要な役割を担うべきは患者さんに最も近い存在である看護師であると考えています。私自身の認知症看護認定看護師としての学びや経験を活かしながら、スタッフの相談に対して共に悩み、必要な場合には指導も行っています。認知症治療病棟にスタッフとして配置されたのは十数年前のことですが、認知症看護を取り巻く環境や制度は変化し、ケア物品は進化しました。そうした時流に合わせてながら病棟の在り方を見直し、より良い療養生活のお手伝いができるよう取り組んでいます。

以前は認知症の進行に伴う身体機能の衰退に対して医療でもって支える選択が多かったように思いますが、最近は病前の本人の想いを汲み取りながらの選択が増えたように思います。意思決定を支援できるように本人や支援者としっかりとコミュニケーションを取り、必要な情報提供を行える準備や他職種との連携を行っています。患者さんが再び穏やかな日々を取り戻し、その人らしくいられるお手伝いができるよう取り組んで参ります。

診療

「ONE TEAM」で治療にあたっています

医師 吉丸 公子(脳神経内科医)

私の専門は脳神経内科医ですが、精神科閉鎖病棟で認知症の問題行動(BPSD)を治療しています。地域の医療機関や介護施設、地域包括からの紹介で入院となる方が多く、高齢の患者さんの場合、身体合併症も多く、その治療も必要となり、精神科医とともに加療しています。

患者さんは、それまでの人生、職歴、家族関係、経済状態、どこで生活していたか、などは一人一人違うのは当たり前で、BPSDの出方も皆さん違います。例えば、早朝の青果市場で働いていた方は昼夜逆転し、夜中に外出しようとしています。それを聞き出し、傾聴し、適切な看護をしてくれる看護師。認知症の心とからだのリハビリをしてくれる作業療法士。家族調整や経済状況把握、地域連絡や退院先調整をしてくれる精神保健福祉士、地域連携スタッフ。食べる機能も低下するので、摂食機能(嚥下)療法をしてくれる言語聴覚士、栄養士、看護師。高齢者に適した薬を助言する薬剤師。このように他職種が密に連携しないと、認知症のBPSD治療はうまくいきません。精神科病棟であっても「患者さんの笑顔を取り戻す」楽しい治療を「ONE TEAM」で目指しています。

検査・食事指導・家族教室などを行っています

公認心理師 中川 芽衣

診療技術部では、外来初診や入院中及び、家族教室等で関わる機会が多いです。初診の患者さんには、診察の前に身体的な検査、認知機能を測定する検査を行っています。身体的な検査としては、診療放射線技師がX線CT検査や単純X線撮影、臨床検査技師が心電図や血液検査等を行います。認知機能を測定する検査としては、公認心理師が長谷川式簡易知能評価スケール、MMSE、ADAS、リバーミード行動記憶検査等を実施しています。治療の見立てに活かせるよう、それぞれの職種が検査を行い、患者さんの状態をアセスメントしています。その時々で患者さんの状態は異なるため、どの検査場面でも安心して受けていただけるような関わりを大切にしています。入院中の

患者さんには、身体的な検査のほか、管理栄養士が食事の見直しを行っています。また、当院では地域の認知症の方のご家族を対象にした家族教室を開催しており、薬剤師や公認心理師、管理栄養士が講師を担当しています。他の職種と比べて患者さんと関わる場面が限定されていますが、患者さんらしく過ごせるように努めています。



地域生活支援

退院支援を行っています

精神保健福祉士 麻田 奈緒

認知症病棟に入院となった患者さんの退院支援を行っています。高齢となると、介護ケアも必要となってくる場面が多々あります。病棟で行われるカンファレンスに参加をし、ご本人の今出来ること（ADL）を把握したり、好きなことを知るように努めています。ご本人の思いを尊重しつつ、ご家族と連絡を取り合い、その人らしく生活出来るような支援を心掛けています。必要な

介護サービスや退院先について一緒に考え、ケアマネージャーや施設職員をはじめとした各関係機関とも連絡を図っています。自宅へ退院される方の場合には、多職種で自宅訪問を行い、環境の確認やご家族の不安をお伺いすることもあります。

患者さん、ご家族が安心して穏やかに地域で生活できるよう、今後もサポートしていきたいと思っています。

生活支援

患者さんの好みに合わせて様々な活動を提供しています

作業療法士 樋口 洋平

● 作業療法

私は病棟にて様々なプログラムや訓練を通して、認知症を支援するチームの一人として関わらせていただいています。特に認知症の方の個性やその人らしさ、生活してきた環境や趣味を大切にできるように意識しています。園芸・回想法・体操・歩行訓練・散歩・音楽鑑賞・雑誌鑑賞・レクリエーションなど、お好みに合わせた様々な活動を提供できるように、患者さんとのコミュニケーションは欠かせないようにしています。

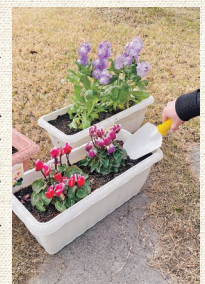
● 回想法

回想法とは昔の懐かしい道具や写真を見て思い出を語り合う活動です。認知症の方は最近の出来事を覚えるのは苦手な場合が多いですが、昔の出来事は鮮明に覚えておられることがよくあります。みなさん昔の生活道具や遊び道具を見て、当時の思い出をととにもこやかに話してください。



● 園芸

皆さんに少しでも季節を感じていただけるよう中庭にお花を植えています。ご自宅でお花を育てていた方々にお手入れを手伝っていただきながら、お花の植え付けや水やりを行っています。



● 運動療法

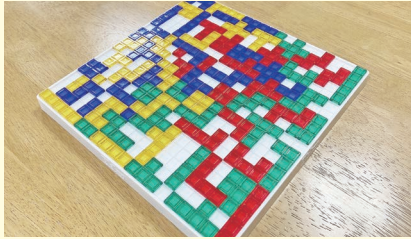
入院生活をしていると運動をする機会が減ってしまいます。関節が硬くなり、筋力が低下すると転倒してしまう危険性が高くなってしまいます。体操を楽しんで取り組んでいただけるように、音楽に合わせた体操や脳トレを交えて行っています。



第4回 みんなで楽しむ「パーティーゲーム」

薬剤師 岡村 佳奈 × 公認心理師 波多 明里

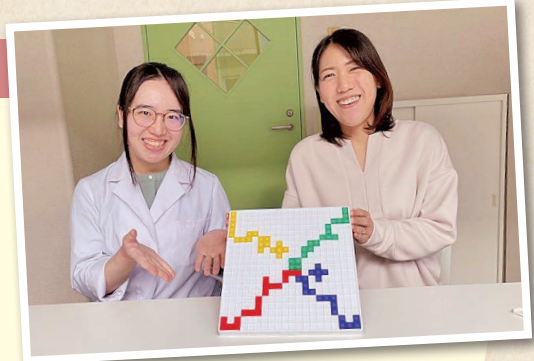
現在、デイケアで人気を博している「パーティーゲーム」。その数は今やおよそ20種類にも上ります。今回はその



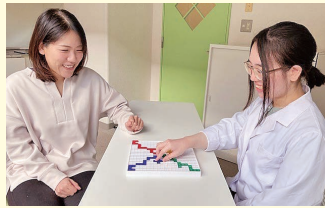
中の一つ、「Blocks」を体験しました。「Blocks」は基本4人対戦で、簡単に言えば陣取りゲームのようなもの。一定のルールに従ってブロックを置いていき、最終的に残ったブロックの数が少ない人が勝利となります。

パーティーゲームはルールが明確に決まっていることや、簡単なものから難しいものまで様々な種類があることから、デイケアを利用される方々やスタッ

フの交流のツールとして用いられています。パーティーゲームの種類が増えるからは、ホール全体の雰囲気も良くなったという声も。世代や疾患などに関わらず楽しむことができるのも魅力の一つかもしれませんね。



作戦を考えたり、参加者と話したりとゲームに集中できるので、気分転換になりそうですね。勝ちたい人や周囲とのやりとりを楽しみたい人など、ゲームを通して自分の特徴にも気づけるかもしれませんね。(波多)



ゲームを通じて、利用者同士だけでなく、スタッフや初めて会った人とも仲良くなるができるんですね。繊細な作業が必要なパーティーゲームでは手先の震えや動作緩慢、会話のスムーズさなどを見て、楽しく過ごす中で副作用チェックをすることができるのではと感じました。(岡村)

イベント報告

こころの医療センター 秋祭り 開催しました

昨年11月15日(水)、「こころの医療センター 秋祭り」を開催しました。例年よりも寒さがつり、冬の訪れを感じた秋祭りとなりました。

未だに新型コロナウイルスや季節性の感染症が流行している中での開催となり、しっかりと感染対策にも力を入れ、入院および外来患者さんをお迎えしました。

多くの方々が楽しめる企画として、カラオケコーナー、フォトブース、くじ引き、紙ヒコー

キ飛ばし大会、ゲームコーナー、屋台などを用意しました。

「やっぱりイベントは楽しい」「久しぶりのカラオケはスッキリ、最高!」「屋台は安くてお腹いっぱい食べられて満足」といった声が寄せられ、皆さんとても楽しそうでした。

今後も院内の皆さまがご家族や地域の方と一緒に楽しめるようなイベントを実施していきたいと思ひます。



外来担当医

※休診日/土・日曜・祝祭日及び年末年始

■ 初診外来は、予約制です。ご予約先：初診外来予約専用電話059-253-3120(9:00~13:00)

	診察室1	診察室2	診察室3	診察室4	診察室5	診察室6	診察室7	診察室10	診察室11
月	初診(精神)	久納	中島	濱本		初診 (アルコール)	岩佐	山城	田邊
火	初診(精神)	森川		芳野	中瀬	吉見	小畑	藪	(もの忘れ外来) 吉丸 脳神経内科
水	初診(精神)	佐野	乾	AM 楠本		初診 (アルコール)	小畑	山城	(もの忘れ外来) 吉丸 脳神経内科
木	初診(精神)	森川	乾	AM 外部医師		金井		久納	富崎
金		(もの忘れ外来) AM 森川		芳野	PM 田村	佐野	吉見	藪	(もの忘れ外来) 小川 脳神経内科

※令和5年11月15日現在

編集後記

お正月も過ぎ、はや1か月が経過しました。皆さま、どのようなお正月をお迎えでしたか? ようやく長く続いたコロナ禍が収まりつつあり、今年こそは趣味のバンド活動や旅行を思い切り楽しめるかなと期待している今日この頃です。とはいえ、引き続き万全の感染対策を行い、自身や周りの人の健康を守っていただきたいと思ひます。

広報委員/看護部 臼井

 三重県立こころの医療センター

〒514-0818 三重県津市城山1丁目12-1
TEL 059-235-2125 FAX 059-235-2135

URL <https://www.pref.mie.lg.jp/KOKOROHP/HP/>

